

縁が結ぶ地域の絆ネットワーク 見守り通信

— 第3号 —

製作・発行 縁が結ぶ地域の絆ネットワーク事務局（遠野健康福祉の里内）

認知症高齢者を見守る

◇認知症高齢者の増加

「認知症高齢者」この言葉自体はご存知の方も多いと思います。わが国の認知症高齢者の数は、平成24年で462万人と推計されており、平成37年には約700万人、65歳以上の高齢者の約五人中一人に達することが見込まれています。今や認知症は誰もが関わる可能性のある身近な病気です。

◇認知症高齢者を取り巻く状況

認知症の症状はさまざまであり、単純な物忘れは認知症とは言えません。

また、最近では、新聞などで認知症がきっかけと考えられる事件・事故が多く取り上げられています。例えば、自動車運転していて起こった高速道路の逆走や暴走事故、自分で自宅

に帰れず行方不明となってしまうなどの事案を耳にした方もいらっしゃると思います。

◇「地域で見守る」ということ

認知症があるから、事件や事故に巻き込まれるということではなく、周りがその症状などに気付くことで事件・事故を未然に防ぐことが可能

となります。このことから、地域で認知症を理解し、地域で見守る活動が市内で展開されています。

◇地域で見守る活動例

①徘徊高齢者SOSネットワーク
警察、福祉団体等が連携し、徘徊によって行方不明になった際に早期発見するしくみです（要事前登録）。

②認知症サポーター
市民、団体、企業などが認知症の症状や接し方などを正しく理解することで、認知症高齢者等にやさしいまちづくりを目指しています。



なお、もちろん私たちの地域見守り活動に関する協力協定もこの活動の一つとなっています。

皆さんも認知症サポーターになりませんか？

認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人やその家族に対して温かい目で見守ることがスタートです。認知症サポーターは「なにか」特別なことをする人ではありません。認知症の人やその家族の「応援者」です。

認知症はだれでもなる可能性のある病気です。いつ自分や家族が、あるいは友人や知り合いが認知症にかかるかわかりません。他人ごととして無関心ではなく、「自分の問題である」という認識を持つことが大切です。これを機会に認知症について理解を深めてみませんか？

1. 対象者

市内の企業、学校、子ども会・老人クラブや自治会などの地域住民の団体

2. 受講料

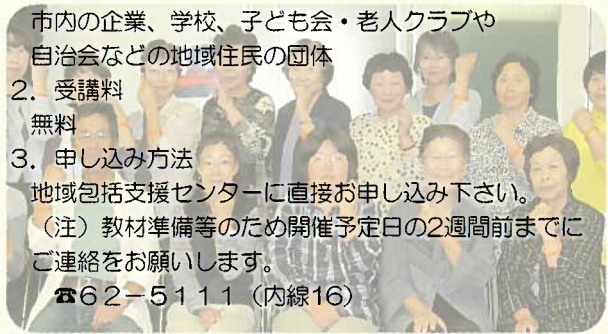
無料

3. 申し込み方法

地域包括支援センターに直接お申し込み下さい。

（注）教材準備等のため開催予定日の2週間前までにご連絡をお願いします。

☎62-5111（内線16）



皆さんの支援が動かす「フードバンク事業」

食料品は、①賞味期限が3か月以上 ②未開封、未破損 ③常温保存可能なもの をお願いしています。



【寄附受付場所・問い合わせ先】
遠野市社会福祉協議会事務局
（総合福祉センター内） ☎62-8459

遠野市社会福祉協議会では、昨年8月（平成26年12月から試行）から生活困窮者の自立を支援する方法の一つとして、生活に困窮している世帯へ食料品を支援するフードバンク（食糧支援）事業に取り組んでいます。

また、世帯へお渡しされる食料品は、全て市民の皆様からの提供により賄われており、「助け合い」「支え合い」の地域社会づくりの一躍を担うものでもあります。

食糧支援の必要な世帯の数は増えていく傾向にあることから、引き続き市民の皆様からの食料品寄附のご協力をお願いしております。

なお、現在は

- ◇レトルト食品（カレー、親子丼、牛丼など）
- ◇インスタント食品
- ◇乾麺・カップ麺
- ◇お茶漬け・のり・ふりかけ
- ◇缶詰・瓶詰
- ◇飲料水（お茶など）

が不足しています。皆様のご協力をお願いします。

自立生活相談窓口の動き

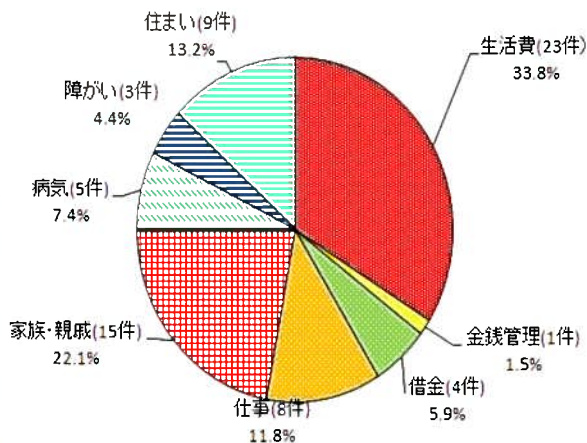


遠野市自立生活相談窓口
主任相談支援員
佐々木 壽

昨年四月から相談支援員3名体制とし、生活にお困りの方に對する相談業務を行っている「遠野市自立生活相談窓口」は、間もなく一年となります。

この間、68名の方からの相談を受け、お困りになつて居る問題の解決に向けたお手伝いを行つてまいりました。【図1を参照】これまでの相談では生活費の問題で困つて居ると相談に来る方が多く、その場合の支援は、その家庭の家計の状況を伺い、何が支障になつて居るかを一緒に考え、ご自身で答えを見つけることができるようにするとともに、必要に応じて、市役所の窓口等へ相談者の方と一緒に向うことも行つております。

【図1】12月までの相談内容



相談者の方への対応については、その方が抱えている問題によっていろいろな形がありますので、状況に合わせて支援の仕方を工夫しています。その支援の方か適切かどうか月一回開催している支援調整会議で確認しています。

これまでにあった主な相談の一例

- ・無職の息子と母親二人暮らしで、母の年金だけでは生活が成り立たない
- ・派遣を打ち切られ、収入が途絶えたため生活費がない、ガス代も滞納し食料もない
- ・高校の初納金が納められず、このままだと子どもの学校生活が厳しい

地域見守り活動に関する研修会を開催します (広域民生児童委員研修会との合同開催)

- 1とき 2月25日(木) 午後1時30分より
- 2ところ あえりあ遠野 交流ホール
- 3内容 1) フードバンク事業について
フードバンク岩手 副理事長 阿部知幸氏
2) 地域福祉計画・地域福祉活動計画概要説明
遠野市・遠野市社協より
(終了予定午後3時20分)
- 4その他 研修会終了後、情報交換会があります(自由参加)
※会費500円(コーヒー・軽食付き)
- 協力協定締結事業所の皆様へは別途ご案内申し上げます。



協力協定を締結している事業所様において、お願いしたいことは、日常の業務の中で料金滞納があるなど、もし生活が苦しいのではないかと気になる家庭へ、私どもの相談窓口を紹介していただきたいと思っております。また、相談にいらつしやるご家庭の中には、なかなか相談に

来ることには勇気がいるとお話しされる方もいらっしゃると思いますので、必要に応じて訪問を行うことも可能です。

まだまだ勉強中ではありますが、お困りの方がよりよい方向へ向かうことができるよう努めてまいります。今後ともご理解ご協力をお願いいたします。



(写真左から) カンパッチ、マグネットステッカー(大)、マグネットステッカー(小)

縁が結ぶ地域の絆ネットワーク協力事業所の皆様を対象としております、マグネットステッカー、バッジの追加製作が完了しました。ご希望の事業所様にお渡しいたしますので、ぜひご希望下さい。

縁が結ぶ地域の絆ネットワーク

見守り活動事業所用
マグネットステッカー、バッジ
おわたしできます!



自動車の取付例(比較してみました)
(この時期は洗車が追い付きません...)

編集後記

協力事業所の皆様におかれましては日頃より、見守り活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。誠にありがとうございます。

協定締結式から今年1月をもって早二年が経過しました。この二年の間、気になる家庭の情報提供や支援の依頼などのご連絡を事業所様からいただくことができました。

今後、通常の業務の中で気になったことをご連絡いただくなど、この見守り活動に引き続きご協力いただきますようお願いいたします。

寒さも大分緩くなってきました。本格的な春も間近になってきましたね。

(事務局)